

# 令和8年度 校内研修計画

## 1. 令和7年度実施内容の記録

|     |                                                                                                                        |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第1回 | ある生徒について校内全体で理解が必要であったため実施。SC 大河内先生による「双極性障害」と「愛着障害」に関する講義を受けた後、教職員で協議を行い、自分の学年の生徒だったらどうするかなど、生徒理解と支援の在り方について具体的に協議した。 |
| 第2回 | ICT 支援員による「オクリンプラス」や各ツールの使用方法説明。授業での活用方法について理解を深めた。                                                                    |
| 第3回 | 新任教員による授業実践。授業観察後、協議会を行い、教員一人ひとりから助言を貰った。授業者だけでなく、参加した教員全員の授業力向上を目指した。                                                 |
| 第4回 | 新任教員による授業実践。授業観察後、協議会を行い、教員一人ひとりから助言を貰った。授業者だけでなく、参加した教員全員の授業力向上を目指した。また、特別支援学級の授業観察であったため、特別支援教育への理解を深めた。             |

これまで実施してきた、外部講師を招き、年間を通してほぼ全教員が授業を公開する形式の研修を見直した。今年度は、全教員が現在必要としている知識や校内で共有すべき課題を取り上げ、本校の実情に即した研修内容とした。また、外部講師を招かず校内での研修としたことで、本校の生徒の実態や日常の教育活動に即した内容に焦点を当てることができた。授業観察後の助言については、多くの教員から意見を聞くことができ、本校教員それぞれの考え方や指導観を知る良い機会となった。さらに、参加者全員が研修内容を自分事として捉え、主体的に考える姿が見られた。新任教員による授業実践も行われたが、研修全体はアットホームな雰囲気の中で実施することができ、互いに学び合う場として有意義であった。

## 2. 令和8年度案

|     |      |                                                                  |
|-----|------|------------------------------------------------------------------|
| 第1回 | 5/27 | 本校技術科飯田教諭による講義。生成 AI を活用した授業実践・業務改善を考えていく。                       |
| 第2回 | 7/1  | SR 講師による講義。サポートルームの意義や活動内容を理解し、不登校支援や居場所づくりに関する校内の現状と課題について共有する。 |
| 第3回 | 8/31 | ICT 支援員による、ICT 活用に関する研修。ICT の効果的な活用方法や授業改善につながる実践事例を学ぶ。          |
| 第4回 | 2/17 | 現在検討中                                                            |

令和7年度の成果と課題を踏まえ、引き続き実態に即した研修内容を設定するとともに、年間を通して計画的に研修を進めていく。特に、生徒理解や不登校支援など、本校において共通理解が必要な課題について研修を行い、教職員間での情報共有を図る。また、授業実践を通じた研修を継続し、授業観察と研究協議を通して授業力の向上を目指す。さらに、研修で得られた知見を日常の教育活動に生かすことができるよう、教職員同士が意見交換を行いながら、継続的に学び合う校内研修の充実を図る。